

# CHANGE

## 12本ダイヤに向け仕業庫の庫回しが最優先 交番検査時のホーン取替基準値変更！？

会社は交検職場で、5月30日付けの『交番検査時におけるホーン取替基準値の変更について（技術連絡第02-19）』を5月28日に掲出しました。

今年の1月15日から「作業指示（作業指示第31-23）」『ホーン取替基準値の変更及び厚さ測定作業の実施について』に基づいて「ホーン取替基準値最適化検討に向けたデータ取得のため」として、交検施工時にだけホーン取替基準値を現行の22mmから23mmに変更して取り替えてきました。その結果、試行結果が良好であるとして令和2年6月1日から本施工すると技術連絡を出したのです。

取替基準値変更の目的は「ホーン取替基準最適化のため」としてはいますが、大阪交番検査車両所の数名の管理者は大阪仕業検査車両所で頻繁にホーンの取り換えが発生しているので交検のホーン取替基準値を22mmから23mmにしてデータを取り、その結果仕業での取り換えが月に数本で済むことがわかったので本施工になったというような話をしています。要は、「のぞみ12本ダイヤ」に向け、仕業検査でホーン取替作業により仕業時間が伸びた時、仕業庫の入出庫時間も遅れ、予定している車両本数の検査が出来ないことを危惧した「ホーン基準変更」なのです。

また、会社は作業の見直しや人員を配置するのではなく、仕業と交検の「基準」を変えてまでも「人件費を安く検査を施工」しようということなのです。

例えばライニングや研磨子の取替基準は台検も交検も同じです。「庫回し」や「人件費削減」のために都合よく「基準」を見直すのは「安全より営利優先」の会社の姿勢を現しているのではないですか？！